

## 昭和初期の福嶋を歩く

### 店屋と古い家を探訪

福嶋は豊かであるのか、小学生であった時代とは、町並みも家並みもとても変貌が激しいと思っている。

重厚な昔風な建物が惜しげもなく壊され、美しい今様のハイカラな家が次々と建てられ、学校の帰り道に道草をしながら眺めた家並みと、美しい木々がなくなつて仕舞い、立ち寄つた店もなくなつて仕舞つたので、回顧の念止み難くこの項を書かせて貰う事を許して戴きたい。

県道の西側から北に向かつて、古い記憶のある家々と、店屋を辿つて見る。

一番南は、福里さんで、「裁縫教室」であつた。

当時の裁縫教室は「嫁さんを探す場所」の格好な場所であつたといふ。

町内会長の萩原さんの家は、美しい建物である。醤油の醸造をしていた古い工場もそのままに残されているのが嬉しい。

高塚さんの家は、恐らく福嶋で唯一の「虫籠格子」(むしこ)が、残されている。

高塚さんの家の南側に、美川の「経田医院」の分室があつて、お医者さんが、人力車に乗つて往診していた。

